

IGMリエゾンラボ新技術セミナー

(続) 「夢の切片」

川本法が拓く

最新組織機能解析の

世界



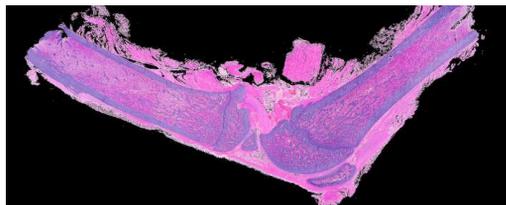
追加情報

講師：川本 忠文 先生(元鶴見大学歯学部講師：歯学博士)

「川本法」は組織形態と組織機能の関連付けに理想的な切片を作製する方法で、40年の年月を費やして実用化した。「川本法」は初心者でも従来法よりも簡単に色々な試料から高品質の凍結切片を作製できる。切片は多くの研究目的に使用でき、従来法よりも良い結果を得る事ができる(追加情報参照)。さらに不可能とされていた研究を可能にし、現在では「Kawamoto's Film Method」として多くの国(現30カ国)の最先端の研究所、大学で利用され成果を出している。本セミナーでは、前回の続編として「川本法」を最大限に利用する事を中心に講演する。更に詳しく「川本法」を知りたい方は、4月3日に川本先生による実習・研究相談会を実施いたします。

(北大関連論文)： Arima et al, Cell 2012, Hasebe et al, J Exp Med 2022など)

(川本関連論文)： Nature Immunol 2024, Anal Chem 2019など)



(9日齢マウス凍結切片(厚さ4 μm) (成熟ラット大腿骨未固定非脱灰切片(厚さ4 μm))

申込先

セミナー

4月2日(水) 15:00~16:30

対象：全学の大学院生、研究者
病院関係者、地域関連機関

定員：50~100名程度(対面のみ)

会場：医学部百年記念館

受付：希望者多数の場合、先着順として
参加人数を調整させていただきます。

※本講演会ではオンライン配信、並び
に動画撮影等を行いません。

実習・研究相談会

4月3日(木)

10:00~12:30

▷高品質の凍結切片作製と応用(1)
(15名程度)

13:30~16:00

▷高品質の凍結切片作製と応用(2)
(15名程度)

16:00~17:00 (予備時間)

会場：医学部管理棟2F共通セミナー室2-1

受付：希望多数の場合、受講者優先とし
先着順に調整させていただきます。

当日、ライカLMDの実演指導も行います。



主催：文科省国立大学共同利用・共同研究拠点事業 感染症研究拠点

共催：IGMの北大機能強化事業「新たな学際領域を生み出す異分野融合研究拠点をコアにした若手研究者育成」、「フォトエキサイトニクス研究拠点~光励起状態制御の予測と高度利用」

世話人：北海道大学遺伝子病制御研究所分子神経免疫学教室 田中宏樹講師 E-mail: bos2022@igm.hokudai.ac.jp TEL: 内線5121